
真剣で私に恋しなさい！ 闇夜に咲く枯れた花

日本政府の犬(仮)

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

真剣で私に恋しなさい！ 闇夜に咲く枯れた花

【Nコード】

N5400Z

【作者名】

日本政府の犬（仮）

【あらすじ】

悪宇商会直属の揉め事処理屋である星嚙絶弥。世界各国で様々な仕事をした彼は、日本へ戻って最初の任務が舞い込んできた。その内容とは まじこいと紅のクロスオーバーです。紅は設定だけを頂いて、舞台は川神学園です。

主人公設定

ホシガミ セツヤ
星嚙絶弥

男性 21歳

職業 揉め事処理屋兼悪宇商会社員

身長 182cm (標準)

体重 80? (標準)

髪型 赤毛で短髪

趣味 読書 (面白ければ何でも読む)

特技 何でも食べられる 速読 刃物の扱い

好きなもの カレーなどの庶民的な食べ物 本 家族

嫌いなもの 他人 自己中心的な人物 高級な食べ物 (食べても味の良さがわからない)

裏十三家の一つ、星嚙家の一人。

全身を“星嚙製”の高い技術力をもって作られた超高性能の人工臓器や義手義足に入れ替えており、超人的な戦闘力と耐久性を持つ。

所謂サイボーグいわゆると言う奴だ。“星嚙製”技術力は九鬼家の力を持つとしても再現することは不可能で、計り知れない謎めいた力が宿るサイボーグと言ってもれっきとした人間であり、肉体の危険信号として痛みや苦しみも感じれば、もちろんセックスも妊娠させることもできる。

悪宇商会とは裏社会では最大手の人材派遣会社。裏世界で五本の指に入る程の規模の大組織。戦闘屋、殺し屋、呪い屋、払い屋、逃がし屋、護衛屋など多種多様な人材を揃えており、裏社会での一流の人材が多数所属している。依頼に応じて適した者を送りこみ、報酬を得る。その活動には善悪の区別もポリシーもなく、金次第でどんな犯罪にも加担し、どんな犯罪の解決にも協力する。政治家やマフ

イアに利用されるケースも多い。悪宇商会の構成員は全員が人殺しの経験がある。

その中で絶弥は戦鬪屋、殺し屋を担当しており、悪宇商会での実績は上位に食い込む実力者。

主人公設定（後書き）

ども、日本政府の犬（仮）です。

この小説は紅の世界とまじこいの世界が混合した世界です。

ですので、多少世界の設定がおかしい所があります。

自己満足で書く小説ですが、感想お待ちしております。

ではまた次回お会い致しましょう

零話 『長期依頼』

毎度毎度ながら、妹は人使いが荒い。

俺はアメリカ、中国、ドイツと世界中を渡り歩き、依頼を熟して休み暇無く次の仕事を入れるとか鬼だろ。

しかも長期の仕事とか面倒臭い。まあそれなりの報酬を貰えるから問題無いが、正直休みが欲しい。

「なあ喜美香。いつそのことハワイ行きの飛行機に乗って、そのままバカンスに行かないか？」

「バカな事を言わないでください師匠。絶奈さまに怒られますよ」
素っ気ない顔で冗談を冗談だと受け取らないお堅い思考の少女が、着替えなどが入った旅行用スーツケースを轆きながら答える。

白魚のように白い肌に、光を通すと透けて輝く美しい白髪。それとは対照的な黒いスーツを着込んでいるので、白い肌や髪が無駄に強調される。そしてアルビノ特有のルビーのように紅い瞳。

名前は馬紋喜美香。俺の弟子で身近の雑用を任せているパートナーだ。

今回も依頼を執行するにあたって、色々な雑用をさせていた。例えば日本食が恋しくなった俺の為に、事前に持って来た食材で日本食を作ったり、海外のホテルが汚かったので部屋の掃除をさせたり。

海外で一般のビジネスホテルに泊まった人は分かんと思うが、汚いんだ。

部屋全体がカビ臭かったり、前に泊まった人のモノと思われる髪の毛が落ちていたり、壁に穴が開いていたり、布団が現れていなかったりと最悪の環境だ。絶奈の奴、もっと高級なホテルを用意してくれ。今度からは実費で良いトコ泊まろう。

「……はあ」

「師匠どうかしました？」

「毎日毎日絶奈からの仕事で疲れているんだ。それくらい察してくれ」

「それは失礼しました。どうぞこちらへ」

見れば喜美香はうさぎ跳びの姿勢で俺に背中を向ける。どうやら背中に乗ってくれと言ってたんだろ。

「師匠、早くしてください。もうすぐでお迎えの車が来ます」

「おいおい……少しは考えろよ。女の子におんぶされる男なんてみっともないだろ」

「それもそうですね。ではどうしますか」

「いや、自分の足で歩くよ」

まったく、やはりこいつは常識が多少欠落してんな。常識くらいは

教えなきゃならんな。これも師匠の役目。こいつの保護者代わりにある俺の役目。

なんでこいつを引き取ったかなあ。

思えば俺が喜美香を育てる義務も弟子にする理由もなかったはずなのに、いつの間にか弟子になって、俺の身の回りを世話をする家政婦的存在へとなっていた。

あの依頼が無ければ、こいつは死んでいたからな。

「喜美香、次の仕事はなんだ？ 長期以外何も聞いて無いんだが」

まあ面倒だから半分聞き流したんだけど。

「はい。次の仕事は長期で最大一年、最短二ヶ月の期間、マロードと呼ばれる本名不詳の人物の命令に期間内ずっと従います。そして今回は潜入任務です。師匠は神奈川県の川神市に存在する川神学園の二年生として転入します」

「マジかよ……21歳で再び高校生になるなんて予想も出来なかったぜ」

「ついでに私も一年生として転入します」

喜美香が勉強出来るか心配だ。二年前に十三歳で俺の弟子になって以来勉強なんてしてないだろうし。俺も頭良くないから勉強面が心配だ。

「何が嬉しくて学園生活を再びしなきゃならんだ」

「師匠は嫌ですか？」

「勿論。大体こつち世界で生きる俺達に、学校の勉強なんか微塵も必要ないんだ。最低限の表世界のマナーを知っていれば十分」

「私は楽しみですよ。学園生活」

そりゃまた意外だ。こいつの事だから任務としてしようがないとか言いそうなのに、楽しそうか。

「だって師匠と一緒に学園生活を送るなんて、今後の生涯では味わえませんから」

可愛い奴。

俺と一緒に楽しむ、か。ならもつと嬉しそうな顔をしろ。この鉄仮面め。

まだまだ子供だと思っていたが、やっぱり子供だ。無邪気で純粹な心を持つ喜美香らしいと言えばらしいな。

だが良い機会だ。ここいらで喜美香を表社会の常識に触れさせるのも悪くない。

そう思いながら迎えの黒いリムジンに乗り込み、悪宇商会の本拠地で妹の壻むくねである本社へ向かった。

零話 『長期依頼』（後書き）

どもども。日本政府の犬、略してマツポとでも呼んでくれても構わない日本政府の犬（仮）です

最初に言っておきます。オリキャラの馬紋喜美香はメインヒロインではありません。メインヒロインはまじこい原作から決める予定です。

なのでバンバンどんな原作メインヒロインが良いのか書き込んでください。

ではまた次回の更新時にお会いしましょう。 Bye Bye！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5400z/>

真剣で私に恋しなさい！ 闇夜に咲く枯れた花

2011年12月18日12時49分発行